

高齢者の体型に合う服装デザイン

21番 豊崎 博子

<制作意図>

現代社会は高齢社会に突入し、高齢者の数は増加を辿る一方となっている。それに伴い、高齢者の衣服に対する需要も増加するわけだが、現在、市場で販売されている衣服を見ると、地味で暗いイメージがあり、一番の問題点として、サイズのバリエーションが少ないことがあげられる。老化に従い、日々体型が変化している高齢者にとっては、自分の体型に合う衣服を見つけるのは容易な事ではないため、多くの高齢者の方は、自分の体型に合わないまま衣服を着続けている。しかし、ファッションは自分の体型に合うものを着てこそ、本当に楽しめるものである。そこで、私は、個人差が大きいと言われる高齢者の体型の特徴を把握し、体型に合う服装デザインを提案する。

<制作過程>

テーマ設定
資料収集
アイデア展開
デザイン画作成
モデル採寸
原型・パターン制作
材料購入
裁断
仮縫い
試着・補正
本縫い
完成

<コンセプト>

デザイン1：背中丸みが目立たないデザイン

ボレロの襟元にギャザーの膨らみをつけ、背中丸みをカバーした。後ろ身頃の丈を長くし、つり上がりを防いだ。オレンジの花柄の布地を使用し、明るい印象にした。

デザイン2：お腹の膨らみが目立たないデザイン

ジャケットに切替線を用い、縦長にすっきりと見える効果を出した。明るめの色の糸を織り交ぜたツイード素材で、上品な華やかさを表現した。

デザイン3：着やすくお腹の膨らみが目立たないデザイン

ジャケットは前身頃の胸元をバイアス使いにし、ギャザーを寄せて凹凸を作り、視線をお腹から外すようにした。パンツはゴムウエストにファスナー開きを加え、履きやすいものにした。お腹の分量を多くとり、ゆとりをもたせた。

<考察>

高齢者の体型は成人体型とは大きく異なり、採寸・制作共に戸惑うことが多くあり、変化した体型をいかに美しく見せるかということがとても難しいものだった。これまでに学んできた知識と技術を取り入れ、新しい分野に挑戦したことは、新鮮さがあり、とても面白かった。モデルを祖母にした為、作品への想いは強く、自分の作品を待っていてくれる人がいることで、完成へ向けて頑張ることが出来た。今回の経験を第一歩として、これからも新しい分野に積極的に挑戦していきたい。

デザイン1



デザイン2



デザイン3

